



いきいきとした町づくりをめざして

# 議会だより かつうら

## No.14

2001. 2. 15発行

発行 徳島県勝浦町議会  
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国  
TEL (08854) 2 - 2511

おいしいな たのしいネ  
横瀬小学校でのバイキング給食!

---

12月議会で決まったこと—2

委員会の活動報告———4

一般質問に11議員が登壇——6

おじやまします・議会のうごき—16

---

# 一般会計補正予算

今山橋関係など

12月定例議会

# 1億199万3千円を可決

## 主なもの

道路改良費(今山橋関係)	4,820万円
広域農道負担金	1,687万円
災害復旧費	2,286万円
社会教育総務費(パソコン購入など)	693万円

このようなことが決まりました

十二月十二日から二十二日までの十一日間開かれ、補正予算、条例改正、議員提出の意見書と市町村合併調査特別委員会の設置などを審議し、全員一致で可決しました。

また、総務常任委員会に付託の平成十二年度各会計の決算を全員一致で認定。星谷地区の三十五人から提出され、厚生常任委員会に付託されていた「犬、猫の飼育事業に反対する陳情書」を賛成多数で採択しました。一般質問には十一人の議員が登壇し活発な論議が展開されました。

## 議案に対する主な質疑

問 東部広域農道の見通しは。

答 農水省では、工期が二十年以上の農道は、見直しの方向が検討されているので、その対象になるかもしれない。

問 国の方向が変わって一番困るのは地元でないか。

答 一市、三町村で計画した事業などで、打ち切りになる場合でも、市町村間で十分協議をし関係者の同意も得なければならぬ。

問 パソコン講習会の目的と有効利用の方法は。

答 情報教育充実のために、四百一人の町民を対象に行う。パソコン二十台を図書館二階に、五台を勝浦会館に置き、町民が手を触れられるようにしたい。

問 町育英奨学金の貸付金が減額されているが、その理由は。また、町民に十分周知ができていくのか。

答 当初の予定より希望者が少なかった。年度によっては多くの申し込みを受けるときもある。広報で毎年周知しているが、さらにPRしていきたい。



給食センター内で炊飯を

## 議員提出議案

# 意見書

- 輸入農産物を対象としたセーフガード(緊急輸入制限措置)発動等を求める意見書
- 消費税大増税計画の中止を求める意見書
- 育児、介護休業法の拡充と保育施設の拡充を求める意見書
- 介護保険の改善と国の財政措置を求める意見書

以上の意見書を全員一致で可決し、総理大臣、衆・参議院議長、関係大臣、県選出国會議員に提出しました。

## 15項目の意見をつけ 11年度決算を認定

総務常任委員会に付託の11年度各会計の決算について、委員長から15項目の「特に留意すべき事項」の意見をつけ認定すべきと報告があり、質疑の後、全員一致で認定しました。

### 留意すべき事項の主なもの

- ・ 交際費で公的に必要なものは考慮を (総務課)
- ・ 悪質な滞納者には、法的措置も (税務課)
- ・ 新しい企業誘致に努力を (産業振興課)
- ・ 給食センター内での炊飯の実施と、町内で調達可能な給食材料は使用するよう  
(教育委員会・給食センター)

**問** 交際費で「公的に必要なものは考慮を」とはどんな意味か。

**答** 総務常任委員長 町長が公的なものまで私費で賄っていることが推察されるので、適正なものは公費で支払い、町政に役立たせてもらいたいとの指摘である。

**問** 給食センター内で炊飯を実施するよう指摘されているが。

**答** 総務常任委員長 建築当初の計画に入っていたので炊飯作業ができるスペースがあることと、地元産米が使用できること等の理由で指摘した。

## 市町村合併調査 特別委員会を設置

平成十二年六月議会で市町村合併調査研究会を作り活動してきましたが、本格的な調査のため特別委員会を設置しました。

委員長 西浜勝己  
副委員長 押栗義雄  
委員 原田昭三  
森敏治  
国清栄  
川端雅夫

## 犬猫飼育事業に反対する陳情 賛成多数で採択

小松島市内のペット業者が星谷地区で計画している犬猫の繁殖施設に反対する陳情書が、星谷の西尾利夫氏ほか三十四人から提出され、厚生常任委員会に付託、審議されましたが、採択すべきと委員長より報告がありました。

### 採択に反対の討論

**清田議員** 地理的にも、陳情者が危惧するような可能性は低い。衰退しつつある勝浦町では、新しい事業や企業誘致促進の意味からこのような陳情書を採択すべきでない。

### 採択に賛成の討論

**西浜議員** 星谷地区からは、キタジマ木工閉鎖時に「公害のない企業を」との要望書も出されている。また、法的にクリアされているというが、周辺の問題もあるのでこの陳情は採択すべきである。

採決の結果、賛成多数で採択しました。

# 総務

## 情報公開条例

### 知る権利の 明記を指摘

十二月五日と十二日に委員会を開き、情報公開条例、十二年度補正予算などを審議しました。

**理事者から** 条例の内容について説明がありました。

**問** 行政の説明責任や、知る権利は明記するのか。

**答** 知る権利は定説がないので説明責任だけ明記したいと考えている。

**問** 小松島市では決裁前の文書も公開するというが、どうするのか。

**答** 決裁後の公開をしたい。

**問** 不服申し立てに対する審査員の構成は。

**答** 弁護士、職員OB、教育関係など五人くらいとっている。

**委員会として** 知る権利については、できるだけ条例に明記するよう指摘しました。



パソコン講習会

### パソコン二十五台で

#### 講習会

**理事者から** I-T普及国民運動事業として、パソコン二十五台分の割り当てがあり、受講者を募集したいと説明がありました。

**問** 受講者は確保できるのか。

**答** 講習会は、十二年度に十二年度は五月から月二回行い、クリアしたいと思っている。

**問** 経験者と初心者との区別をすべきでないか。

**答** 受講者の経験等を受け付けの段階で調査し、分けたい。

## 活動報告

察をしました。

### 総務委員会 視察報告

九月四日から三日間、広島県豊松村で廃校舎の利活用、福岡県新宮町で、情報公開条例について視察研修を行いました。

豊松村は、福山市から車で約一時間のトマトとコンニャク栽培が盛んな過疎の村で、高齢化率は四十%とのことです。

明治時代に建てられた有木小学校が廃校となり、取り壊しの話もありましたが、村が都市との交流拠点として、また、村民のうるおいとやすらぎの場として保存することに決めたそうです。

昔のままの姿を残しながら、一億三千七百万円で改修し、平成六年から利用されています。利用者数は年平均五百人で村内と村外の人の割合は約半々となっています。利用者のうち宿泊者は四十%でほとんどが村外の人です。また、卒業生が同窓会に利用したり家族連れで来ることも多いようです。管理運営は村が行っていて、毎年三百万円余りの補てんをしています。

このように歴史のある廃校舎を利活用しても経営は赤字であり、坂本小学校跡はなお一層厳しいことが予測されます。町や地元の重荷にならないような運営をするためには、かなりの努力が必要だと感じました。

### 住民の知る権利を明記

#### 福岡県新宮町

平成十一年に情報公開条例を制定、施行している福岡県新宮町では「知る権利」を条例に盛り込んでいます。

勝浦町でも来年度に条例の制定、施行に向けて取り組んでいますが、「知る権利」については、その定義が明確でないことから態度を決めていません。行政の説明責任がより明確になることから明記することがよいのではないかと思われま



廃校の利活用「ビレッジハウス仁吾川」



施設の改造も近い坂本小学校跡

十一月二十二日、十二月十二日、一月十七日、委員会を開き、坂本小学校跡利活用問題等について審議しました。

**問** 坂小跡利活用について町長の考えは。

**答** 統合時の条件であり、早くしてほしいとの要望が強い。滞在型宿泊施設等を考えているが、地元やる気が一番である。

営については、専門家意見を聞きながら進めたい。いつまで町が指導していくのか。

**答** 実施後五年間は指導していききたい。

委員会として 施設整備の具体的内容や経営計画、地元との協議が煮詰まった段階で再び協議することに決定しました。

**問** 施設改造等の予算はどのくらいか。また、運営については心配ないのか。

**答** 事業費は億単位になると思う。運営

委員会の

審査・調査・視

十一月六日、二十四日、十二月十二日、十五日、二十日、平成十三年一月十二日に委員会を開き、星谷地区の犬・猫飼育事業計画反対陳情書の処理、沼江保育所の入所者減少、十二年度補正予算などを審議しました。

**理事者から** 一月四〜五日に平成十三年度入所希望者受付の結果、入所者がなく、今後地元で現状を報告し、県に保育所休止届を提出したいとの説明がありました。

**問** 入所者減少の原因は。

**答** 就学前教育が生比奈、横瀬保育所でなければならず、小学校のプール、体育館の利用等施設整備の整った保育所を希望したことである。

**問** 急激に減少することは予想できなかつたのか。

**答** 四歳以下の幼児が沼江保育所を希望しなくなるとは予測できなかつた。

## 厚生

### 沼江保育所

### 入所者ゼロで休止へ

#### 陳情書を審議

**理事者から** 犬・猫飼育事業計画の内容と反対陳情書の説明がありました。

**問** 地元と業者との話し合いは。

**答** 一度、地元で説明会を開いている。

**問** 以前に、同地区のキタジマ木工跡地利用の要望等が星谷区長から出されているが。

**答** 平成十年五月に地元区長から、「公害のない施設を」との要望が出されている。

**委員会として** 公害等について審議し、「採択すべきもの」としました。



休止になる沼江保育所

老人医療費一割負担に

## 病院に行けない人への対応は

生活保護の申請も（福祉課長）

原田昭三 議員



となる。どのような内容になるか。

**答** 石尾病院事務局長 勝浦病院において、外来

では、一月月三千元を上限として医療費の一割を負担してもらうことになり、以前より、一月月八百八十円の増となる。入院については、一日千二百円の定額であったものが、一月月三万七千二百円を上限とする負担になる。

住民税非課税世帯は、上限二万四千六百円、住民税非課

**問**

平成十三年一月から、老人医療費が一割負担

税で老齢福祉年金受給者は一万五千円となる。

**答** 光井福祉課長 二百床以上の病院では、外来

の上限は一月月五千元となる。個人の診療所は、一回八百円で月三千二百円の上限となる。

## 介護保険料

### 未納者の事情は

**問** 昨年十月から、六十五歳以上の人からも介護

保険料の徴収が始まったが、十四人の未納者があると聞く。どのような事情なのか。

**答** 光井福祉課長 年度末には家庭訪問し、状況を把握したい。

**問**

医療費の自己負担増に加え、十月からは介護

保険料負担も二倍になる。老人にとっては相当の負担増になる。

**答** お金がなくて病院に行けないとか、介護サービスを受けられないような人が出てくるのではないか。

**答** 光井福祉課長 生活ができないような状況であれば、生活保護の申請も考えなければならぬ。

## 蛍光灯破裂の心配はないか

**問**

各地の小中学校で、PCBが入った蛍光灯が破裂し、生徒に被害が出るといふ事故が起こっている。集会所をはじめ町の施設についても調査する必要があるのではないか。

**答**

滝花参事兼総務課長 状況を調査して対応したい。また、必要な場合には広報で周知をしたい。

坂本小学校跡利用

## 地元と町の責任分担は

管理運営は地元

宣伝活動等は町も協力（産業振興課長）

国清 栄 議員

**問**

維持経費については、町が全面的に支援して



いちごの高設栽培

## 財産区の今後は

両財産区議員が話

し合う時期に（町長）

**問**

生比奈財産区は林道がなく、管理運営に支障をきたしている。有利な補助事業はないのか。



P C B の調査は



**問** 一億八千万円のグリーンツーリズム事業費で、どれだけのことができるのか。

**答** 戸川産業振興課長 施設の改造と農産物の加工場である。

くれると地元では認識しているのでは。

**答** 戸川産業振興課長 管理運営は地元が行い、大きな修繕は町が、小さなものは地元が行う。宣伝活動や県に対する要請などは、全面的に協力していきたい。

**問** 経営がうまくいかなかった場合の町の対応は。

**答** 戸川産業振興課長 五年間の成果を見た上で、地元と協議し、続けてやっていくのかどうかの判断をした。

**問** 町長は「長期滞在型施設も必要である。また、この事業を成功させるためには、プールやテニスコート等も将来は考えていく」と答弁しているが、できるのか。

**答** 川口町長 今、町内にある施設を有効に使ってきたい。過大な投資はできない。

いくのかどうかの判断をした。

**問** 町長は「長期滞在型施設も必要である。また、この事業を成功させるためには、プールやテニスコート等も将来は考えていく」と答弁しているが、できるのか。

**答** 川口町長 今、町内にある施設を有効に使ってきたい。過大な投資はできない。

**問** 町長は「長期滞在型施設も必要である。また、この事業を成功させるためには、プールやテニスコート等も将来は考えていく」と答弁しているが、できるのか。

**答** 川口町長 今、町内にある施設を有効に使ってきたい。過大な投資はできない。

**問** 町長は「長期滞在型施設も必要である。また、この事業を成功させるためには、プールやテニスコート等も将来は考えていく」と答弁しているが、できるのか。

**答** 川口町長 今、町内にある施設を有効に使ってきたい。過大な投資はできない。

## 新規就農者に支援を

**問** いちこの高設栽培など新技術を導入した新規就農者が増えているが、町の今後の対応は。

**答** 戸川産業振興課長 資材会社の技術指導に頼らざるを得ないが、普及センターにも現地指導をお願いしたい。また、販売についてはJAで対応してもらいたい。

**問** いちこの高設栽培など新技術を導入した新規就農者が増えているが、町の今後の対応は。

**答** 戸川産業振興課長 資材会社の技術指導に頼らざるを得ないが、普及センターにも現地指導をお願いしたい。また、販売についてはJAで対応してもらいたい。

**問** いちこの高設栽培など新技術を導入した新規就農者が増えているが、町の今後の対応は。

**答** 戸川産業振興課長 資材会社の技術指導に頼らざるを得ないが、普及センターにも現地指導をお願いしたい。また、販売についてはJAで対応してもらいたい。

**答** 秋本建設課長 過疎町村に適用される普通林道事業がある。内訳は国五十%、県二十%、地元と町が残り三十%を二分の一ずつ負担する。

**問** 両財産区の合併など、今後についての町の考え方は。

**答** 川口町長 横瀬、生比奈両財産区議員が話し合いの場を持つ時期が来ているように思う。

**問** 両財産区の合併など、今後についての町の考え方は。

**答** 川口町長 横瀬、生比奈両財産区議員が話し合いの場を持つ時期が来ているように思う。

## 住宅マスタープラン

### 宅地造成に取り組みのか

#### 早急に煮詰め結論を出す（町長）

宮本久治 議員

**問** 生名地区で行っていた調査は完了したのか。

**答** また、いつごろまとめができるのか。

**答** 尾原住民課主幹 十二年度の事業として鑑定業務を委託し、それをもとに算定資料を作成中であり、十二月中にまとめができる予定である。

**問** 全部で四十三区画の調査をしたが、そのうち

の二十区画ぐらいが適当でないかと県の指導があったと聞か、造成をするのか。

**答** 川口町長 土地の鑑定価格や工事費、補償費、道路、排水などの問題や、町費の補てんなどを考えながら、一坪十万円以内になるか早急に煮詰め、造成するかどうかの結論を出したい。

#### 坂本小学校跡利用計画

#### 地元の気運はどうか

#### 認識は高まりつつある

（町長）

**問** 地元の実行委員が坂本区内を説明に回ったが、

出席者が少なかったと聞く。地元の気運はどうか。

**答** 戸川産業振興課長 新たな事業なので不安、という意見も出たが、坂本区全体で支援していく認識は高まってきているとの報告を受けている。

**問** 統合時の約束以外に約束事はいいのか。また、町と地元との責任分野は明確にし、書面で行うべきと思うが。

**答** 川口町長 地元という煮詰めている最中であり、他に約束事があるとは今のところ聞いていない。

**問** 統合時の約束以外に約束事はいいのか。また、町と地元との責任分野は明確にし、書面で行うべきと思うが。

**答** 川口町長 地元という煮詰めている最中であり、他に約束事があるとは今のところ聞いていない。

**問** 統合時の約束以外に約束事はいいのか。また、町と地元との責任分野は明確にし、書面で行うべきと思うが。

**答** 川口町長 地元という煮詰めている最中であり、他に約束事があるとは今のところ聞いていない。



生名地区住宅マスタープランの今後は

## 坂本小学校跡

### 利活用の具体的取り組みは

二月に補正予算を計上したい（産業振興課長）

森 敏治 議員



**問** 町費の負担はどの程度必要となるのか。

**答** 滝花参事兼総務課長 国の補助率は二分の一

で、交付税措置などもあり、町の実質負担は三千二百万円程度の見込みである。

**問** 事業を推進していくために町の人的支援は欠かせない。今後の対応は。

**問** グリーンツーリズム事業の中の「やすらぎの交流空間整備事業」として、一億八千万円の予算が確保されたと聞きますが、今後の具体的取り組みは。

**答** 戸川産業振興課長 地

元と十分話を煮詰め、二月に臨時議会を開き、具体的に取り組みたい。



坂本小学校跡 今後の具体的取り組みは

**答** 戸川産業振興課長 事業計画や宣伝活動など地元と一体となって取り組んでいきたい。

### どう進めるグリーンツーリズム事業

全町的な広がりの中で（町長）

**問** 坂本地区では積極的な取り組みが行われているが、グリーンツーリズム事業をどう進めていくのか。

**答** 川口町長 坂本地区だけの事業でなく、町全体の広がりの方がけとして、長い年月で成功させたい。都会の人が自然を直接楽しめるような長期滞在型の観光のためには、環境整備も必要である。

### 六歳児まで入院医療費の無料化を

**問** 県は、四月から六歳未満の乳幼児の入院医療費を無料化する方向であるが、町ではどうするのか。

**答** 川口町長 県と連携しながら前向きに考えていきたい。

### 忠魂碑の移転は

**問** 平成十三年度の慰霊祭時代の節目として移転すべきだと思うが。

**答** 川口町長 役場の入口も狭く移転を考える時期に来ているが、過去の経過もあり、遺族と協議し検討したい。

### 十三年度予算の基本的考えは

**問** 厳しい財政状況の中で、どのような基本的姿勢でのぞむのか。

**答** 川口町長 行政改革大綱を基本とし、住民にも時代の変化を理解してもらい、無駄を省き事業の選択もしなければならぬ。十六年度が一番厳しい年となるので、それを見据え予算編成に当たりたい。反面、住民が夢と希望を持てるような、バランスのとれた予算としたい。



忠魂碑 移転を考える時期に



## 行政改革

### 県職員との人事交流は

#### 県と調整してみたい（町長）

川端雅夫 議員



問 中で職員の意識はどう変わったか。また、町活性化のために職員の意見をどう反映させていくのか。

答 川口町長 話し合う中で職員の意識もかなり変わってきている。日当および特別勤務手当の廃止、期末手当のカットなど、実を結びつつある。

答 倉橋助役 多くの職員を研修の場に派遣し、学んだことを報告書として提出してもらい、町政に生かしていきたいと思う。

### 一般公募による住民参加の町づくりは

#### 研究してみたい（町長）

問 住民の意識改革のために、今後も座談会を開く計画は。

答 川口町長 昨年、行政改革大綱の説明会を各地区で開いたが、三十%ぐらいの出席率であった。多くの人が参加できる方向で検討したい。

問 福岡県新宮町では、住民参加の町づくりのための一般公募が行われたと聞かすが、町として取り組む考えは。

答 川口町長 大変いいことだと思ふ。今後、農業、商業、教育関係等も含め研究してみたい。

### 十二年の成果と反省

問 平成十二年の事業で成果の上だったもの、また

た反省すべきものは。

答 滝花参事兼総務課長 県の消防操法大会小型ポンプの部で第六分団が三位に入賞したこと。女性リーダー育成指導などでは反省すべき点もあった。

答 戸川産業振興課長 農村プロモーション協議会の設置、農産物マーケティング事業の推進、スプリングクライ

の設置、園内道等の基盤整備においても成果が上がっている。残念なのは、誘致企業一社が撤退したことである。

答 光井福祉課長 保育所での就学前教育の充実、小学校では放課後児童健全育成事業を開設し、子育て支援に成果があった。

高年齢者対策では、生きがいデイサービスセンター「みかんの郷」とグループホーム九床が建設された。

答 尾原住民課主幹 ゴミの減量化、粗大ゴミの回収や町内の花づくりなど環境美化について、住民の意識が高まった。



潜水橋の安全対策は万全か

### 潜水橋の安全対策は万全か

問 今山、星谷潜水橋の転落防止策は。

答 秋本建設課長 自発光式道路びょうやポストコーン、また、凍結時、強風時の走行注意の看板も設置してある。

問 昨年、星谷橋で県外の車が凍結のためスリップ事故を起こし、一人が亡くなった。凍結防止剤はだれがまくのか。

答 秋本建設課長 警察の指導もあり、橋の両側に凍結防止剤を置き、今年からは最寄りの建設業者に委託をし、まいてもらうことにしている。

問

町職員の一人在が県市町村課に派遣されているが、県職員の受け入れについての考えは。また、その問題点は。

答 川口町長 今後検討し、県と調整してみたい。問題点は「人材」、「町職員との融和」、「財政負担」である。



職員の見聞も町政に

問

平成十二年の事業で成果の上だったもの、また

## 新世紀の町の課題は

### 所得の向上と地場産業の育成（町長）

押栗義雄 議員



しほり、所得向上を図るための方策として、重点産業への集中投資などを考えていく必要がある。

## 坂本小学校跡の現状と対応策は

### 地元の理解と協力が必要だ（町長）

**問**

坂本小学校跡の有効活用のための予算として、一億八千万円が確保できる見通しで、説明会が開かれているが、地元の対応と今後の取り組みは。

**答**

川口町長 財政が厳しい中、維持、管理、運営について、町の丸抱えは難しい。地元と十分問題を煮詰めながら、どんなことがあっても成功させたい。地域住民の理解と協力をお願いしたい。

**問**

二十一世紀に向けての町の課題と取り組みは。川口町長 国の財政改革が断行されているが、その中でも有利な補助事業を取り入れていきたい。今後の課題として、所得の向上と地場産業の育成を行いたい。

**答**

倉橋助役 ファームサイピス、営農指導体制の強化等を行い、町の農業再生を図りたい。

**答**

滝花参事兼総務課長 地方交付税の減額が予想される状況の中で、英知を



地場産業の強化策は（特産の貯蔵みかん）

**答**

滝花参事兼総務課長 グリーンツーリズム事業を町全体の農業振興に生かし、将来の農業人口の増加につなげたいと考えている。

## 介護保険料徴収状況と町民の理解は

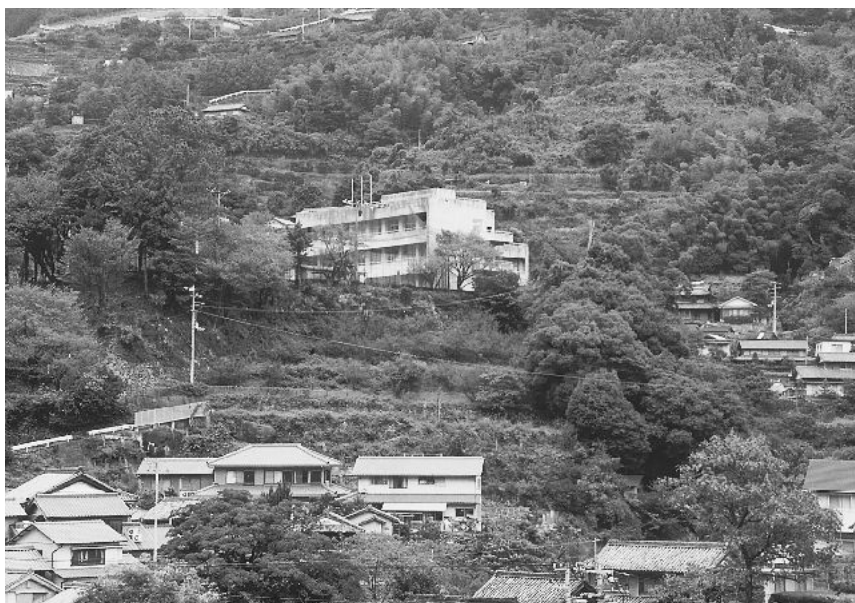
### 理解は深まっている（福祉課長）

**答**

光井福祉課長 町民の理解は深まっており、納付者からの苦情は聞かれませんが、高齢者の中には負担が重くなったという声もある。平成十二年度第一期分の収納率は九十九・三四％で、未納者は十四人となっている。今後も広報、パンフレット等で制度の内容について周知していきたい。

**問**

十月から高齢者の介護保険料の徴収が始まったが、徴収の状況と未納者に対する今後の指導はどうか。



地元の理解と協力で成果を

## 目や耳の不自由な人の 窓口対応は

対応できていると思う（町長）

福徳重二議員



目や耳の不自由な人の窓口対応は

**問** 役場窓口へ目や耳の不自由な人が来た時の対応は、どのようにしているか。

**答** 尾原住民課主幹 障害のある人に対しては、

関係の課と連携しながら十分配慮するよう心がけて対応している。

**問** 職員採用時に特別な資格を持った人を採用しているかどうか。

**答** 川口町長 十分とはいえないが、今後もこのままでも対応できると思ってい

## 発ガン性のある 蛍光灯調査したか

**問** 発ガン性の疑いがあるポリ塩化ビフェニール（PCB）を使用している蛍光灯や水銀灯は、保育所、小

中学校やその他の公共施設から十三年度中に撤去、取り替えるよう県から指導があったと思うが、どうなっているか。

**答** 入田教育委員会事務局長 学校関係は調査をし、取り替えは終わっている。

**答** 滝花参事兼総務課長 公共施設で一部調査できているところがあるが、早急に調査して対処する。

## 中山間地域直接 支払い制度は 成功するの

**問** 傾斜地の水田や畑を荒地にしないようにと国から農家にお金を直接支払う

制度であるが、支払いを受けるには農地の隣同士で集落協定を結ばなければならない。本町では全体面積の半分しかできていないのはどうしてか。また、このような状況で成功するの



成功するか、中山間地域直接支払い制度

**答** 戸川産業振興課長 高齢化で五年間農業を続けることができないとか、土地の傾斜が条件を満たしていないなどの理由がある。いま作業中なので成功するか否かを言う時期ではない。

**問** 国からの交付金六千万円、町から二千万円、計八千万円の大事業で事務費も膨大である。今後に生かせるか。

**答** 戸川産業振興課長 初めからの取り組みであり、今後は農家が知恵を出し合い、よい方向で運営できていくと思う。

## 景気回復に 目玉政策を

**問** 企業の倒産や撤退、農産物価格の低迷、公共

事業の縮小などどれをみても他町村に負けない悪さである。「町長、不景気をなんとかしてくれよ」「議会もなんとかしてくれよ」との町民の声は多い。ぜひこれをやりたいという町長のビジョンは何か。  
**答** 川口町長 農業、福祉を中心として都市との交流、観光を取り入れて町づくりを進めたい。財政再建を行い、ゆとりある財源を確保して夢のある大きな仕事もしたい。

## 人口減少の対応と 子育て支援の町づくりは

### 県下に先駆けて支援策ができています (町長)

中田丑五郎 議員



**問** 十年後には、町の人口は六千人余りと推測される。人口減少の対応策と、子育て支援による町づくりの実施状況は。

**答** 光井福祉課長 乳児保育や延長保育、保育料の軽減、放課後児童健全育成事業等を実施している。

**答** 川口町長 県下に先駆けてそれぞれ支援策ができていると認識している。人口減少に歯止めがかからない原因を調査し、今後の方向を決めていきたい。

**問** 乳幼児を持つ親の精神的不安、生活環境の慣れによる悩み等を相談できる機関の設置と、お母さんの話し合いの場として「サークル」を作るよう指導してはどうか。

**答** 光井福祉課長 子育て支援センターとしてわか。

## 定住促進の 町づくりは

んぱく教室を開設し、入所児童だけでなく、在宅で子育てしている保護者も参加し、悩みや相談等を受けて不安解消に努めている。保護者の中でサークルが結成されるよう努力していきたい。

**問** 平成九年度のアンケート調査の結果、分譲宅地購入希望者は多くあったが、住宅マスタープラン事業の実施をしている中で、今後の住宅施策の方向性が見えないが。

**答** 川口町長 これからは定住の持ち家施策を中心に行う。完売できるような方向で検討していきたい。

**問** 県や、住宅供給公社等の専門家を委員とした定住促進会議を設置してはどうか。

**答** 川口町長 今後、前向きに検討してみたい。

## 働く場を 確保する ための 町づくりは

企業の誘致と働く場の確保についての対応は。

**問** 企業の誘致と働く場の確保についての対応は。

**答** 川口町長 現在の企業にできるだけ雇用してもらえよう行政として支援をしていきたい。

企業誘致は、県の企業立地課等からの情報を収集し、前向きに進めていきたい。

## 星谷運動公園の 施設充実と 周辺整備は

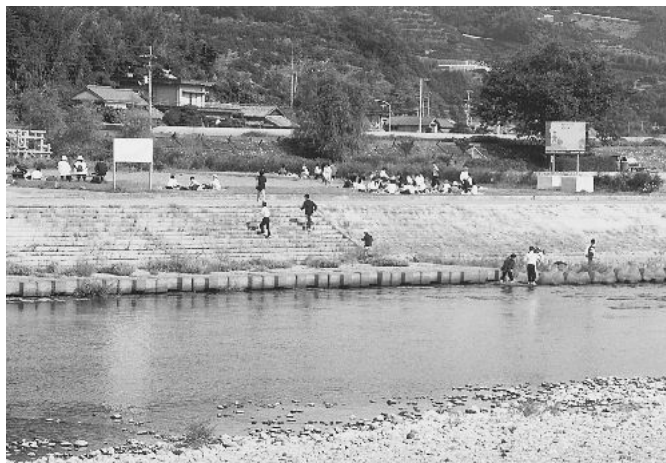
**問** 公園内ちびっこ広場の遊具や、幼児が水に親しめる小さなプールを作るなど施設の充実を図る考えは。

**答** 入田教育委員会事務局 長 いろいろな遊具などを設置することにより、公園を利用する人が増加すると考えられるが、河川法の制約

があり、今後、県等に働きかけていきたい。

**問** 星谷の多目的運動公園の周辺には、川水浴、星の岩屋、ハングライダー基地等が点在しているが、ハイキングの周遊コースとして、町内外の子供からお年寄りまでが楽しめるよう整備をしてはどうか。

**答** 川口町長 恵まれた自然環境の中にある運動公園を拠点に、周辺の施設等を利用してくれる人が、一日遊べるようなルートを作りたいと思っている。



施設の充実を（星谷運動公園）



期待される放課後児童健全育成事業

## みかんの隔年結果

### 技術対策の徹底を

#### 現地指導など総合的に（産業振興課長）

井出幸夫議員



**問** 農業センサスから、町農業の状況をどう見るか。

**答** 戸川産業振興課長 農産物価格の低迷の中で、三十歳、四十歳代の就農者が二十%も減少するなど厳しい状況だ。

**問** 施設栽培等で新たな就農者も出てきているが、軌道に乗るまでの間が大変だ。援助策として、例えば、毎月十万円



みかんの隔年結果対策を急げ（県果樹試験場）

を一年間支給するというような「新規就農者支援制度」を作ってみては。

**答** 川口町長 ユニークな発想だ。前向きに検討したい。

**問** 最近のみかん生産量は激しい隔年結果を繰り返し、表年と裏年では倍くらいの価格差がある。技術対策の徹底を。

**答** 戸川産業振興課長 パンフレットの発行や現地指導など総合的に隔年結果対策をやっていききたい。

### イキイキセミナーの成果は

#### 社会参加の機会に

（参事兼総務課長）

**問** 女性イキイキセミナーの活動の成果は。

**答** 滝花参事兼総務課長 若い女性の社会参加の機会になった。グループの結成や地域のリーダー養成につながって欲しい。

**問** 阿南市では、女性政策室を設置し女性二人を配置して、総合計画を作っている。男女共同参画のための総合計画作成についての考えは。

**答** 尾原住民課主幹 国や県の計画を参考にしながら、策定に向け努力したい。男女雇用機会均等法では、募集・採用・配置・昇進での差別を禁止している。町職員の昇格における男女差はなかったか。

**答** 川口町長 過去にはあったと聞くが、私が町



イキイキセミナーの活動成果は

**問** 「五体不満足」の作者である乙武洋匡さんの明るく積極的な生き方が共感を呼んでいる。障害者の社会参加の壁をなくすための取り組みも進んできているが、今求められている対策は。

**答** 光井福祉課長 障害者の要望は、年金などの生活保障、医療費の軽減、障害者が外出しやすい町づくり等である。

**問** 障害者は、社会的な情報から排除される傾向があった。パソコン・インターネットを日常生活用具として積極的に普及すべきでは。

**答** 光井福祉課長 情報収集の手段としていい方法だと思ふ。検討したい。

### 同和地区指定の解除を

**問** 部落差別の解消は、地区内外の垣根を取り払い、共にうち解け合っていく町づくりが必要だ。一年三カ月後の同和対策の法期限に合わせて、同和地区指定を解除する考えは。

**答** 岡本参事兼同和対策課長 いずれ地区指定を解除する時が来ると思う。国や県の動向を見ながら判断したい。

### 障害者にパソコンを情報収集にいい方法だ

（福祉課長）

## 所信表明ほどの程度実現したか

五割以上は実現している（町長）

西浜勝己 議員



て発表したのが、どの程度実現できたと思うか。

**答** 川口町長 重点五項目に全力で取り組んできた。町民や議会の協力で五割以上は実現していると自負している。

## 新年度予算はどうなる

総額は本年度程度  
（参事兼総務課長）

**問** 川口町長任期最後の当初予算編成に向けての重点施策は何か。また、限られた財源で何を削って、何を増やすのか。

**答** 川口町長 急激に進む国際化、IT問題への対応、坂本小学校跡の活用など山積している諸課題に重点的に取り組まなければならない。

**問** 予算編成に向けて、税収の見通しと各課の予算要求の重点項目は。

**答** 信政税務課長 平成八年以後、税収は下降を続けている。来年度も減収は必至である。

**答** 秋本建設課長 県営事業の負担金と町道維持補修費の増額は、財政が厳しくてもぜひ必要である。

**答** 戸川産業振興課長 営農体制強化費の増額が必要である。

**答** 光井福祉課長 継続事業がほとんどだが、現状は維持したい。

**答** 石尾病院事務局長 医療器具の整備を行い、町民の検診分野の充実を図ってきたい。

**答** 入田教育委員会事務局長 老朽建物の維持補修費や情報教育を充実させたい。

**答** 尾原住民課主幹 臨海処分場建設にともなう新たな負担が必要となる。

**答** 岡本参事兼同対策課長 勝浦会館補修費の増額



検診分野の充実を

と、地対財特法期限内での補助事業の推進費が必要である。

**問** 各課の予算要求は、それぞれ重要だが、前年より減額できる課があるわけがない。各課長の答弁もそうなっている。町長の政治的判断と、補佐する助役の考え方は。



県営事業の負担金増を（農免道路）

**答** 川口町長 五カ年計画で財政を立て直し、農業と福祉と観光の町づくりに決意も新たに組みたい。

**答** 倉橋助役 予算査定で各課長の意見を十分聞き、百%満たせなくても、町長が正しい判断ができるよう資料提供をしたい。

**問** 来年度の予算総額をどれ位と考えているのか。

**答** 滝花参事兼総務課長 各課とも重点をしばり、独自性を出してもらいたい。総額は本年度ぐらいに収めたい。

## 町の衰退を認識しているのか

時代の流れで仕方がないものも（町長）

溝田義昭 議員



**問** 平成元年から新総合振興計画に基づき町政を

進めてきたが、人口も目標の八千人に遠くおよばず大幅に減少、町の産業も衰退しているが、その認識はあるのか。

**答** 川口町長 時代の流れで仕方がないが、ハウスの栽培や「よつてネ市」は伸びており、町の活性化に役立っている。しかし、みかんや誘致企業など多くの産業で衰退が目立ち、寂しい限りだ。



商店街にも閑古鳥が

**問** 次期振興計画の策定にあたっては、適確な予測のもとに町の将来の厳しさを前面に打ち出し、住民が心一つにして危機的状況を乗り切るよう意識を変えてもらう必要があると思うが。

**答** 川口町長 あまり危機感を募って住民が萎縮するのも行政の責任だ。実現できる計画を立てることを基本とし、バランスのとれた計画としたい。

## 起業家の育成をしては

**問** 企業の誘致も難しい実情から、町民の中で企業を興す人を育成してはどうか。そのために若手起業家を招き、講演会などを開いてみては。

**答** 滝花参事兼 総務課長 限られた業種だが、県にベンチャー企業育成制度があるので、それに乗せを検討してみたい。講演会などは、商工会等と協議し考えてみたい。

## 県道危険箇所のは改良は

**問** 県道の整備も振興計画に入っていたが、せめて町内の危険箇所は早急に取組むべきだ。棚野、中角、柳原地区の改良はどうなっているか。

**答** 秋本建設課長 三工区とも県単対応になるので枠がどれだけとれるか問題



県道危険箇所の改良を早急に

ごが、今、柳原地区で精力的

に地元と交渉を重ねている。棚野工区は用地ができれば、いつでも計画すると県は言っている。中角工区は、ほ場整備と合わせてバイパスを作る話が進んでいたが、今は中断している状況だ。

## 東部広域農道 公共事業見直しの影響は

**問** 国では、公共事業の見直しが行われているが、

東部広域農道も見直しの対象になるのではないか。

**答** 秋本建設課長 まだ国の方針ははっきりしていないが、部分的に使用できる方向で事業を推進するよう指導されている。

## 花嫁不足に 国際結婚の推進を

**問** 花嫁不足は何ら解決していない。国際結婚についても真剣に取り組むよう、専門相談員と話し合ってみては。

**答** 川口町長 理解を得られるような形で話し合ってみてみたい。

## 市町村合併アンケートを行っては

**問** 議会でも市町村合併の調査研究に取り組んでいるが、今、町民が合併についてどのような考えを持っているかを知るため、アンケート調査を行っては。

**答** 川口町長 議会の特別委員会や職員の研究会の意見を収集し、アンケートを行うかどうかの判断をした。

# ワールドカップを追い風に

## 少年サッカーFCクレイン

監督 新居善一さん

— 活動内容は。

部員は小学生三十人で、週に三回の練習を横瀬小学校と星谷運動公園で行っています。県主催の公式試合などに参加したり、バーベキューやキャンプなど楽しい行事もいっぱいです。

去年から女子も同一チームで活動しています。二〇〇二年は、ワールドカップが日本と韓国の共催で行われます。この追い風に乗って一人でも多くの子供達が、サッカーに興味を持ってくれることを望んでいます。

— 議会だよりの感想は。

新聞の地方欄はよく読むのですが、さらに密接な影響を受ける議会の動きがよくわかってよいと思います。これからもより親しみやすい記事を期待しています。

— 議会や町に対しての要望は。

徳島市、阿南市、小松島市に比較的近いので、人の集まりやすい町づくりや、文化施設の充実、若者の町外流出を防ぐ企業誘致など、町の活性化につながる施策を願っています。



FCクレインのメンバー

## 編集後記

輝く二十一世紀の幕が開きました。将来に大きな夢を抱きながら二〇〇一年に町内で生まれた赤ちゃんは、二月一日現在、女の子一人です。まさに少子化そのものです。しかし、世界の人口は、二〇五〇年には百億人を越えると言われています。今、地球上で一番重要な問題は環境を守ることです。一人一人が将来の子供達のために、安全で安心して暮らせるよう早急に取り組んでいかなければなりません。

毎回試行錯誤しながら「議会だより」を作成していますが、皆様に読んでいただけるよう、わかりやすく、読みやすい紙面にと頑張っています。

また、議会傍聴に多くの人が来てくださるようお待ちしております。(雅)

## 議会のうごき

### 11 月

- 2日 勝浦町議会市町村合併調査研究会  
先進地視察
- 4日 議会広報調査特別委員会
- 6日 厚生常任委員会
- 9日 議会広報調査特別委員会
- 15～17日 町村議会議長全国大会  
勝名地区町村議会議長会県外視察  
研修
- 21日 勝浦川整備促進特別委員会
- 22日 産業建設常任委員会
- 24日 厚生常任委員会
- 27日 小松島市外三町村衛生組合議会
- 28日 専門学校評議員会

### 12 月

- 1日 議会運営委員会  
勝浦町議会市町村合併調査研究会
- 5日 総務常任委員会
- 6日 徳島県町村議長会理事会
- 12日 12月定例議会開会・全員協議会  
産業建設常任委員会  
総務常任委員会・厚生常任委員会
- 15日 厚生常任委員会
- 17日 徳島駅伝勝浦郡選手団結団式
- 18～19日 12月定例議会再開・一般質問
- 20日 一般質問・議案審議  
厚生常任委員会
- 22日 全員協議会・議案審議・閉会

### 1 月

- 2日 成人式
- 4～6日 徳島駅伝勝浦郡選手団応援
- 6日 徳島駅伝勝浦郡選手団解団式
- 7日 消防出初め式
- 11日 議会広報調査特別委員会  
過疎町村議会議長研修会
- 12日 厚生常任委員会
- 17日 産業建設常任委員会  
市町村合併調査特別委員会
- 19日 議会広報調査特別委員会  
全員協議会・議会運営委員会
- 23日 議会広報調査特別委員会
- 26日 議会広報調査特別委員会
- 29日 議会広報調査特別委員会
- 31日 町村議会正副議長研修会